

こっこめ通信 06 2002

「キノコが光る？」号



八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

今年のゴールデンウィークは天候にも恵まれ、予定していた行事は何事もなく無事に終わりました。その後は梅雨に入ってしまったのではないかと天気になったり、夏のような天気になったりと不思議な5月でした。6月になると島では雨とともに、シロアリの季節がやってきます。シロアリが家に近づかないように、部屋を真っ暗にする日が今年は何日あるのでしょうか。

さて今月は、これからの時期、島の観光の目玉の一つ、「光るキノコ」をお送りします。

光り始めたキノコ

5月の雨の続いた日、スダジイの洞の中で、淡い緑色の光を放つキノコがありました。その名は「シイノトモシビタケ (*Mycena lux-coeli*)」。最近まで八丈島特産とされていた発光キノコで、島では古くから「鳩の灯」と呼ばれていました。スダジイの古木の朽ちた部分から発生し、ヒダの部分がもっとも強く発光します。しかし、このキノコは空気が乾燥してしまうと2日と持たずに消えてしまいます。



Photo by T.Ichino

八丈島には、このほかに「ヤコウタケ」、「エナシラッシタケ」、まだはっきりと分かっていない「ギンガタケ (仮称)」など、色々な光るキノコを見ることができます。

写真は、八丈島キノコ研究会の市野 享さんが撮影した「シイノトモシビタケ」です。光を当てると左の写真のように見えますが、消して暗くすると右の写真のように光っているのが分かります。



Photo by T.Ichino

アカコッコとは日本の固有のツグミ科の鳥で国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

グリーンペペとヤコウタケ

小笠原で「グリーンペペ」と呼ばれる光るキノコがあります。この「グリーンペペ」、実は「ヤコウタケ」のことで、「小笠原諸島返還後に父島に帰島した旧島民の子弟が命名し、親族の経営する店名にも使われ、戦前は“ひかりきのこ”と言われていた」と言うお話を小笠原のダイビングショップで働く森下 修 さんから教えていただきました。この名付け親である宮川 典継 さんは現在も小笠原でサーフショップを経営されているそうです。

「グリーンペペ」とは小笠原の「ヤコウタケ」であって、八丈島の「ヤコウタケ」ではないんです。同じ「ヤコウタケ」でも八丈島の「ヤコウタケ」は「グリーンペペ」と呼べないわけですね。

八丈島の光るキノコ

光るキノコで有名な「ツキヨタケ」よりはるかに強く発光する「ヤコウタケ」、八丈島ではフェニックス・ロベリニー（シンノウヤシ）の枯れた葉柄などから多く出るこの「ヤコウタケ」は、学名を *Mycena chlorophos*（ミケナ・クロクロフォス）と言い、種小名の *chlorophos* は緑の光を意味しています。明るい所で見ると傘の直径が 2cm 程の真っ白なキノコです。

前のページで紹介した「シイノトモシビタケ」は、「ヤコウタケ」よりやや弱いですがそれでもかなりの光を放ちます。明るい所で見ると傘の直径が 1～2cm 程の薄茶色のキノコです。

「エナシラッシタケ (*Favolaschia pezizaeformis*)」(写真下左) はとても小さく、傘裏面のヒダが円形で蜂の巣のような形をしています。光はそれほど強くないですが群生するため遠くからでも分かります。

八丈島には、他にも光るキノコがありますが、研究が進んでいないため、まだ名前はありません。島の中では「通称 ギンガタケ」(写真下右) と呼んでいるものもあり、研究が進めば八丈島から色々な種類が出てくるかもしれませんね。

発光は、発光物質が活性酸素によって酸化されるとき、化学エネルギーが光エネルギーに変換されるために起こります。光は熱を伴わない冷光です。

これらのキノコが、なぜ光るのかは全く分かっていません。

また、ビジターセンターでは、培養した「ヤコウタケ」を、一年を通して展示しています。



Photo by T.Ichino



ビジターセンターにあるキノコの部屋
(カーテンを閉めると光っているのが分かります)



Photo by T.Ichino

写真は、上が明るい状態、下が光っている状態のものです。写真はすべて八丈島キノコ研究会の市野 享 さんの撮影です。

下の表はキノコの見られる時期を表したのですが、湿度・気温により必ずしも見られるわけではありません。

	5	6	7	8	9	10	11
ヤコウタケ							
シイノトモシビタケ							
エナシラッシタケ							
ギンガタケ							

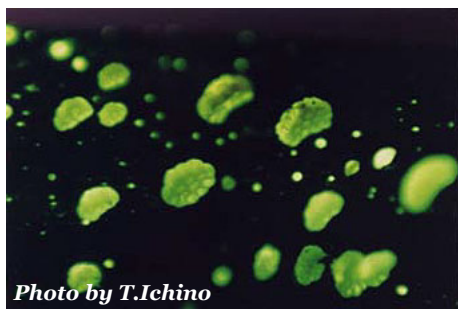


Photo by T.Ichino



Photo by T.Ichino



Photo by T.Ichino

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは毎月第二日曜日に八丈植物公園季節調査会を開催しています。この行事は、植物公園内の生き物で季節を感じようという趣旨です。毎回、見られる植物がどのように変化していくのか、またどんな鳥や昆虫が見られるか観察しています。

今回は5月12日に観察会を行いました。下の表が調査記録です。

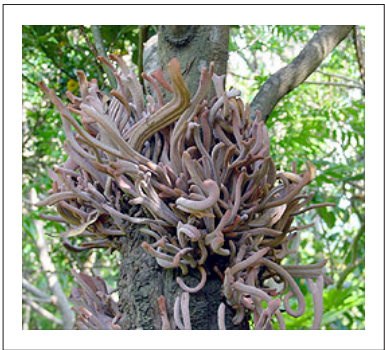
八丈植物公園季節調査				(平成14年第5回)	
平成14年5月12日(日) 13時30分～15時					
参加者・青柳、伊藤、落合、奥山、小野寺、伊勢崎、V.C.菊池					
NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草 本			36	アシタバ	花
1	ドクダミ	花	37	オオニワゼキショウ	花と実
2	オニタビラコ	花と種	38	クグ	実
3	ハルジオン	花	39	コメツブツメクサ	花
4	ウスベニニガナ	花	40	ギシギシ	実
5	チチコグサ	花	41	ケキツネノボタン	花
6	ハハコグサ	花	42	カモジグサ	花
7	ニワゼキショウ	花	43	シロバナセンダングサ	花と実
8	ヒメコバンソウ	花	44	ノビル	花と実
9	チチコグサモドキ	花	45	テリハノブドウ	蕾
10	チガヤ	花	46	トキワツユクサ	花
11	イネ科sp.	花	47	ベニバナボロギク	花
12	ヌカボ	花	48	ノゲシ	花と実
13	トウバナ	花と実	49	ブクリョウサイ	花
14	オランダミミナグサ	花と種	50	スズメノエンドウ	実
15	イヌタデ	花	51	アメリカイヌホオズキ	花
16	コケミズ	花	52	オオバコ	花と実
17	ツメクサ	花と種	53	シチトウスミレ	閉鎖花
18	コモチマンネングサ	花	54	ニラバラン	花
19	ムラサキカタバミ	花	55	ヒエガエリ	花
20	ヤエムグラ	花	木 本		
21	ヒサカキ	実	1	アカメガシワ	花
22	キランソウ	花	2	ミズキ	未熟な実
23	トキワハゼ	花	3	ガクアジサイ	花
24	コナスビ	花	4	オバヤシャブシ	実
25	ママコノシリヌグイ	花	5	スイカズラ	花
26	タチイヌノフグリ	花と実	6	ハチジョウイボタ	花
27	ハキダメギク	花			
28	セイヨウタンポポ	花			
29	カタバミ	花			
30	コマツヨイグサ	花			
31	シロバナマンテマ	花と実			
32	ヒメジョオン	花			
33	オオアレチノギク	花			
34	コセンダングサ	花と実			
35	イヌガラシ	実			

※ビジターセンターでは八丈植物公園の季節変化の公開調査を月1回程度行なっています。

興味のある人は窓口でお問い合わせください。

植物の名前をこれから覚えたいと思っている人など大歓迎。

八丈島では、内地とは少し様変わりした種や独自に進化した種など聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、植物公園内でも見られる「ヤブニッケイもち病菌」にスポットを当ててみたいと思います。



ヤブニッケイもち病菌 *Exobasidium hachijoense*

八丈島特産のカビやキノコなどと同じ菌類の一種。
名前の通り、ヤブニッケイに寄生しています。梅雨時期になると幹や枝から鹿の角のような突起が「ヤブニッケイもち病菌」です。しかし梅雨が終わるとすべて落下してしまいます。学名の「*hachijoense*」は、八丈島のことです。

2002 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
30 ガイドウォーク 07:24 02:09 21:25 14:19						1 ガイドウォーク 07:27 02:28 22:26 14:49
2 ガイドウォーク 08:14 03:31 23:20 15:38	 3 09:27 05:00 16:37	4 00:16 06:36 11:27 17:49	5 01:05 07:41 13:21 19:04	芒種 6 01:47 08:24 14:37 20:08	7 02:22 09:00 15:31 20:59	8 ガイドウォーク 02:54 09:33 16:17 21:43
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 03:24 10:06 16:58 22:22	10 03:54 10:40 17:38 22:58	 11 04:25 11:15 18:19 23:33	12 04:56 11:52 19:00	13 05:31 00:09 19:43 12:31	14 06:08 00:49 20:27 13:14	15 ガイドウォーク 06:50 01:33 21:14 14:00
16 ガイドウォーク 07:40 02:28 22:04 14:50	17 08:45 03:36 22:55 15:46	 18 10:16 04:59 23:46 16:49	19 12:08 06:21 17:59	20 00:36 07:28 13:51 19:12	夏至 21 01:22 08:22 15:11 20:20	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「火山のお話」 八丈島はどうやってできた？ 02:06 09:09 16:14 21:19
23 ガイドウォーク 02:48 09:53 17:07 22:09	24 03:29 10:34 17:54 22:54	 25 04:09 11:14 18:36 23:35	26 04:48 11:53 19:14	27 05:27 00:12 19:49 12:31	28 06:05 00:49 20:22 13:07	29 ガイドウォーク 06:43 01:27 20:53 13:43

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じよう。
6/9（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「火山のお話」 八丈島はどうやってできた？

八丈島をもっとよく知るための講座。今回は「火山のお話」です。
6/22（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ 八丈・四季・人・自然

14:00～ 八丈・四季・人・自然

15:00～ 八丈・四季・人・自然

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2002.6.1 第13号

開館時間 9:00～16:30 年中無休（無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷 2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888